

「日本宗教」第4回

平安時代の宗教 鎌倉仏教

リーディング・アサインメント

『世界を読み解く「宗教」入門』第4章
topic 6 「日本仏教の特徴」
(238-245頁)



平安時代の宗教 Overview

- 天台宗
- 真言宗
- 平安時代の神道——神仏習合の進展
- 大衆宗教
- 末法の時代における信仰

天台宗

最澄 (767-822)

- 近江の豪族の出身。19歳の時、東大寺で受戒。
- 比叡山で研究と修行。比叡山は日吉（ひえ）神が住む山とされた霊山であった。比叡山寺を建て、日吉神を守護神として祀った（現在は日吉大社となっている）。
- 天台教学をもっとも優れた教えと考えた。



天台教学

- 隋の時代、天台山の智顛^{ちぎ}によってまとめられた教学。
- 多様かつ矛盾する仏教の教えを整理・体系化し（教相判釈）、法華經（The Lotus Sutra）を最高で最後の教えとした。

天台宗の形成

- 804年、遣唐使船で唐に渡る。天台山で天台教学を学ぶ（8ヶ月）。
- 805年、天台宗を開く。法華、禪、戒、密教、浄土教を合わせる。
- 812年、空海と断交（奈良仏教と最澄は対決、空海は妥協）。
- 818年、比叡山に大乘戒壇を作る運動を開始。
 - 国家から一定の距離を置いた仏教となることを目指す。
- 822年、死去。866年、「伝教」の大師号を朝廷から与えられる。

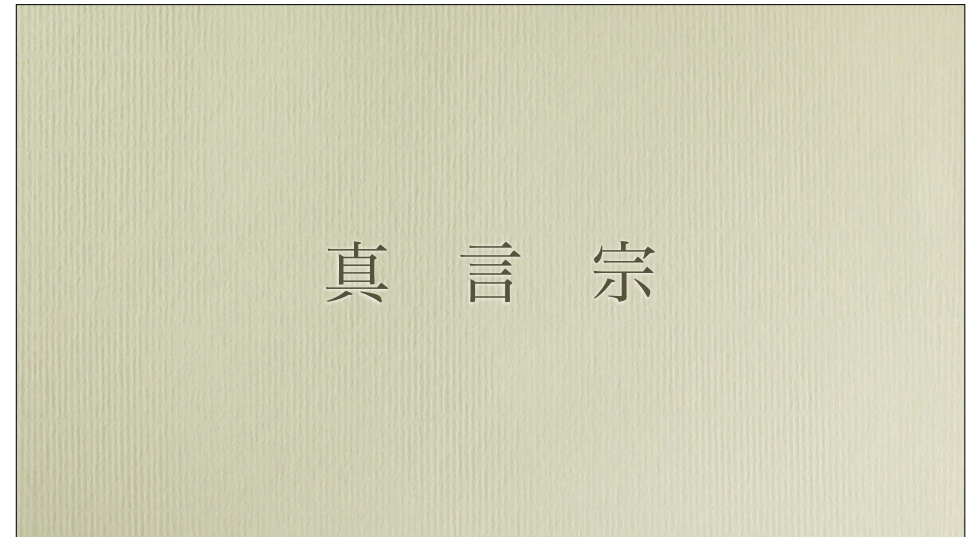


比叡山延暦寺 根本中堂









空海 (774-835)

- 讃岐国の豪族の出身。20代を通じて、四国の山岳や山辺で修行を重ねる。
- 804年、中国に渡り、長安で密教を学ぶ。唐の密教の最盛期、恵果から教えを受け、遍照金剛の名を与えられる。
- 2年後の806年帰国。中国では842年の仏教弾圧で、密教はほぼ途絶えてしまう。



密教 (esoteric Buddhism)

- 6-7世紀、インドで大乘仏教の最後の流れとして成立。
 - 密教はチベットにも伝えられ、チベット仏教が成立。
- 大日如来 (Mahavairocana) を宇宙の根本仏と考える。金剛界 (The Diamond Realm) と胎蔵界 (The Womb Realm) をつくっているとされる。これを図絵として表したのが曼荼羅 (mandala) 。
- 事相 (護摩法をはじめとする呪術的な加持祈祷) と教相 (大日如来を中心とする世界についての理論) のバランス。
- すべての人間は大日如来の現れで平等。宇宙の本質である大日如来と一体となることができる (即身成仏) 。



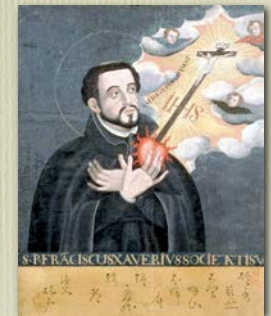
金剛界曼荼羅



胎蔵界曼荼羅

【参考】 ザビエルによる翻訳から考える

- ザビエルは日本到着の直後、神を「大日」と訳した。のちに「デウス」 (Deus) とする。
- 大日如来 (宇宙の創造、人格的) は、一神教の神に似ている。違う点は、人間との距離。
- 「一」と「多」の関係性。一神教と多神教の違いはどこにあるのか。



真言宗の形成

- 816年、高野山に密教の道場を開く。後の高野山金剛峯寺。
- 823年、朝廷から京都の東寺を与えられる。寺号を教王護国寺とあらためる。828年、隣に綜芸種智院という学校をつくる。
- 832年、高野山に入る。
- 835年、入滅（61歳）。
- 921年、醍醐天皇から「弘法大師」の号をおくられる。

密教美術の発展

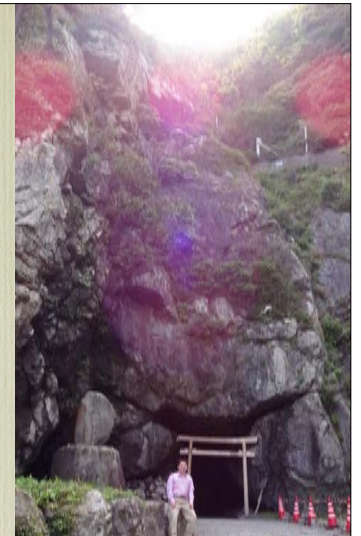
- 三密：身（body）・口（speech）・意（mind）
 - 一定の作法で仏に働きかける。
 - 彫像、図像、曼荼羅が多数作られる。
 - 密教即芸術

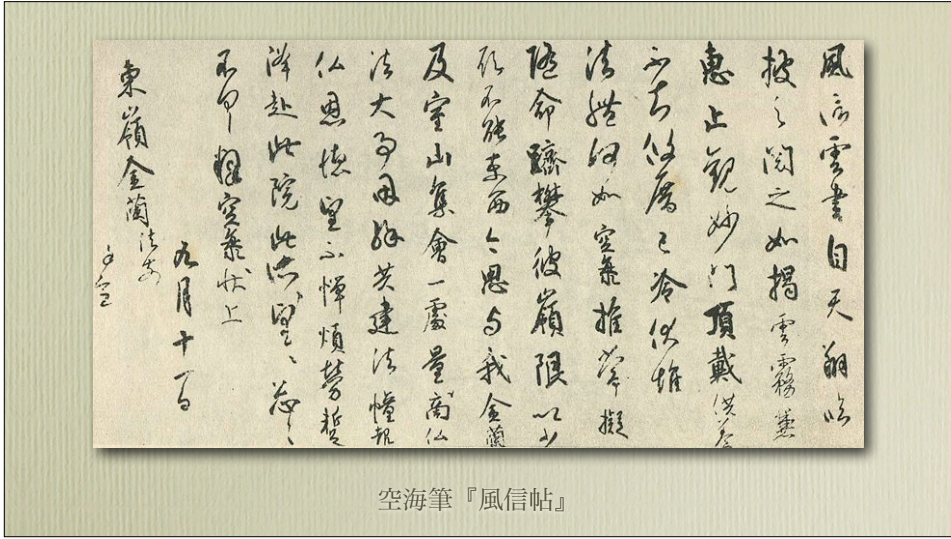
【参考】宗教とイメージ（美術）

- 宗教的实践（瞑想・祈り）をする際に「イメージ」を使うかどうかは宗教・宗派によって異なる。
- 仏教：真言宗はイメージを積極的に用いる。禅宗はイメージを否定する（ただし、禅に基づいた五山文化は栄えた）。
- キリスト教：カトリックや正教会はイメージを積極的に用いる。プロテスタントはイメージを否定する。
- イスラーム：原則的にイメージには否定的。

民衆生活の中の空海

- 空海に関する数々の伝説
 - 空海ゆかりの井戸、池、温泉は全国各地にある。平仮名、讃岐うどんも空海がつくったという伝説がある。写真は、青年空海が修行をしたと言われる御厨人窟（みくろど）。
- 書道「弘法にも筆の誤り」「弘法筆を選ばず」
- 四国八十八カ所の遍路
 - 空海と「同行二人」で歩む行とされてきた。











東 寺



講 堂



金 堂



平安時代の神道

— 神仏習合の進展 —

神道と仏教

- 927年、「延喜式」が作られ、神祇制度が整う。
- 神仏習合が進む。
- 九州宇佐地方の神である八幡神（鋤産、鍛冶の神）が大仏建立を助けたことから、八幡神は仏教を守護する善神とされた。平安初期には都を鎮護する神として石清水に祀られた（石清水八幡宮）。



石清水八幡宮 本殿

本地垂迹説

- 平安中期には、本地垂迹説（the manifestation theory）が説かれるようになる。
- インドに起源を持つ。
- 天台宗、真言宗によって、神々の本地仏が説かれるようになる。
 - 天照大神 ← 大日如来
 - 八幡神 ← 阿弥陀如来

仏教による神道の包括

- 本地垂迹説の普及とともに、神社ではその本体である仏を「神宮寺」や「別当寺」をつくって祀ることが一般化する。
- 伊勢神宮、出雲大社などの高位の神社以外では、主導権が神宮寺や別当寺に移っていく。
- 神道の骨組みを残したまま、仏教が神道を包括していく。また、神道は仏教の影響を受けて、教義や儀礼を整えていく。

大衆宗教

陰陽道 (おんみょうどう)

- 陰陽五行説に基づいて、年、日、時刻、方角、人の一生などについて吉凶を説く。
- 五行説：万物は木・火・土・金・水の五元素から成るという説。
- 安倍晴明 (921-1005)
- 晴明神社



疫病神退治をする安倍晴明 (泣不動縁起より)

御霊信仰

• 御霊信仰の例

- 869年、疫病が大流行。占いにより牛頭天王（水の神、疫病を支配する神。神仏習合では、スサノオの本地、薬師如来の垂迹とされた）のたたりとわかる。祇園社（1868年に八坂神社に改名）で牛頭天王を祀る。祇園祭の起源。

- 御霊の祭りは夏祭りとして定着していく（それ以前、祭りは春と秋に行うのが基本であった）。



末法の時代 における信仰

末法思想の流行（11世紀）

- 末法（The Latter Day of the Law; The Age of Dharma Decline; The End of Dharma）
- 正法（釈迦以降の1000年）、像法（次の1000年）、末法（その後の1万年）という三区分による仏教の下降史観。
- 1052年が末法の第一年になると考えられた。政治の乱れ、災害や疫病の続発、僧兵の横暴などを背景として、末法が現実感をもって受けとめられた。

浄土教の流行

- 阿弥陀信仰
 - 「南無阿弥陀仏」を唱える。極楽浄土と共に地獄を描くことが盛んになる。
- 平等院鳳凰堂
 - 藤原頼通が宇治の別荘を寺院にした平等院に阿弥陀堂（鳳凰堂）をつくる。



弥勒信仰

- 仏滅後56億7千万年たつと、地上に下って仏となると信じられた。農民の間で、救世主としての弥勒信仰が広まった。



弥勒信仰

- 仏滅後56億7千万年たつと、地上に下って仏となると信じられた。農民の間で、救世主としての弥勒信仰が広まった。



地蔵信仰

- 弥勒菩薩が出現するまでの間、六道（地獄道・餓鬼道・畜生道・修羅道・人道・天道）を輪廻する衆生を救うとされた菩薩。
- この世と地獄の境に立つとされたので、村はずれの辻に地蔵が立てられることが多かった。



観音信仰

- 観音菩薩は衆生を観て自在に救う菩薩と考えられた。様々に姿を変えて現れる。
- 平安中期には様々な観音を合わせて信仰する「三十三観音」の信仰が盛んになる。
- 三十三間堂



高台寺

アンドロイド観音マインダー

“慈悲”と“救済”の菩薩である観音菩薩は、救いを求める者に応じて様々な姿に変化することができます。技術が発達し、物心ともに豊かになった現代にあっても、いまだ苦悩する多くの人々のため、観音菩薩は《アンドロイド観音マインダー》として、京都の高台寺の地にその姿をあらわされました。

<https://www.kodaiji.com/mindar/index.html>



鎌倉仏教

Overview

- * 鎌倉仏教の特徴
- * 法然と浄土宗
- * 親鸞と浄土真宗
- * 日蓮と日蓮宗／正宗

鎌倉仏教の概観

浄土系	浄土宗	法然	念仏
	浄土真宗	親鸞	念仏
日蓮系	日蓮宗	日蓮	題目
	日蓮正宗	日蓮、日興	題目
禅宗	臨済宗	栄西	座禅、公案
	曹洞宗	道元	座禅

平安仏教と鎌倉仏教

- * 平安時代の仏教（天台宗、真言宗）
 - * 統一的な体系を追求。中国から取り入れた仏教。
 - * 国家鎮護のための仏教。
- * 鎌倉仏教
 - * いかにして救われるのか。簡素な信仰・信心を基礎にした救い。日本的仏教。
 - * 民衆にも届く救済。既成仏教、幕府、朝廷から弾圧を受ける。

【参考】プロテスタント宗教改革との比較

- * 宗教改革の時代背景
 - * 中世カトリック教会の腐敗・形式化に対する抵抗運動（プロテスト）
- * 宗教改革の原理
 - * 「信仰のみ」「聖書のみ」「万人祭司」 cf. 「念仏のみ」「法華経のみ」
- * ルター
 - * 修道生活をやめて、結婚し、家族を持つ。 cf. 親鸞

法然と浄土宗

法然 (1133-1212)

- * 専修念仏 (single practice nembutsu)
- * 念仏 (the Pure Land chant) 以外を阿弥陀の本願を阻むものとして退け、念仏のみであらゆる人間が救われると説いた。
- * 南無阿弥陀仏
(Hail Amida Buddha)



せんちやく 『選択本願念仏集』

- * *Passages on Choosing the Original Vow and the Nembutsu*, 1197
- * 貧しい人、愚かな人、「悪人」、武士、農民、すべての人が念仏を唱えることによって救われる。
- * 女性を救済から閉め出していた既存の仏教を批判し、説法の座を女性にも開放。

聖道門と浄土門

- * The Gate of the Saintly Path and the Gate of the Pure Land
- * 口では戒律を尊びながら、退廃した生活をしている僧たちの実態を批判し、浄土門以外の教えを「聖道門」と呼んで批判した。
- * 自力と他力 (本願)

専修念仏への弾圧

- * 興福寺と延暦寺は、僧兵の力を背景に法然に対する弾圧を始めた。
- * 1200年、鎌倉幕府が念仏を禁止。
- * 1206年、朝廷も弾圧を強め、濡れ衣を着せられた弟子たち四名が四条河原で斬られ、法然と弟子（親鸞も）たち8名が流罪となった。
- * 法然は帰京を許された翌年（1212年）、80歳で死去。弟子の源智が大谷の地に法然の遺骨を納め、のちの知恩院を創建した。



勢至堂



阿弥陀二十五菩薩来迎図
（「早来迎」）

親鸞と浄土真宗

親鸞 (1173-1263)

- * 比叡山で9歳のときに得度し、20年にわたり厳しい修行を積むが、比叡山の退廃に絶望し、法然のもとに。
- * 1206年、法然に仕えて5年ほどで、専修念仏の弾圧事件が起こる。親鸞は4年で罪を許されるが、流罪先の越後にとどまった。それ以降、非僧非俗の立場を貫く。
- * 1214年、42歳の時、親鸞は妻・恵信尼と共に東国へ旅立つ。そこで独自の考えを展開する。
- * 1231年、京都に戻る。『教行信証』（のちに浄土真宗の根本聖典となる）を著す。
- * 1263年、90歳で死去。



親鸞の教え

- * 徹底した他力による救済
 - * 阿弥陀の本願を信じれば、ただ一回の念仏で救われる。
- * 悪人正機説
 - * 「善人なをもて往生をとぐ、いわんや悪人をや」（『歎異抄』第三章）
If even a good person can be reborn in the Pure Land, how much more wicked person!
- * 自然法爾（じねんほうに）
 - * 自力をすて、阿弥陀仏の絶対他力に任せきること。

【参考】プロテスタントとの比較

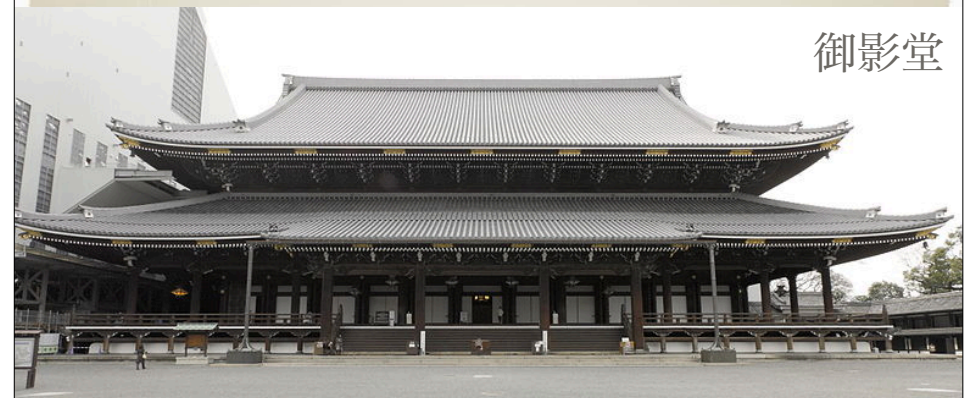
- * Karl Barth (1886-1968)
 - * 法然・親鸞の運動を「日本のプロテスタント主義」と呼んだ（『教会教義学』Ⅱ/2、265頁以下）。
- * Buddhist Churches of America
 - * 浄土真宗本願寺派による布教。
 - * 座禪をめぐる日米間の論争。



本願寺教団

- * 徳川家康は、三河一向一揆で窮地に陥れられた経緯があり、本願寺内部の対立を利用し、本願寺を分立させる。
- * 1602年、「准如を十二世法主とする本願寺教団」（現在の浄土真宗本願寺派）と、「教如を十二代法主とする本願寺教団」（現在の真宗大谷派）とに分裂する。

東本願寺・西本願寺



御影堂



日蓮 (1222-1282)



- * 鎌倉で学び、その後、比叡山へ。
- * 浄土教に対抗できる新しい法華信仰を打ち立てようとした。
- * 1271年、日蓮は幕府によって佐渡に流される。
- * 1274年、許され鎌倉に戻り、その後、身延山に久遠寺を開く。
- * 1282年、60歳で死去。

法華経の重視

- * 法華経 (妙法蓮華経, the Lotus Sutra) のみ
- * 題目: 南無妙法蓮華経 (Hail the marvelous teaching of the Lotus Sutra)
- * 他の宗派を否定。「念仏無間、禅天魔、真言亡国、律国賊」 (四箇格言) を唱える。
- * 折伏 (しゃくぶく、break and subdue)

「日本」への関心

- * 1260年、『立正安国論』 (Establish righteousness and pacify the country) を著す。法華経に基づく政治を目指す。
- * 日蓮は、天皇を王法 (政治) の主体として位置づけるが、宗教上での権威は認めなかった。天皇であっても仏法に背けば仏罰をこうむる。
- * 二度の元寇を日蓮は仏罰と受けとめた。
- * 「日本」という国を視野に入れる。

日蓮宗と日蓮正宗

- * 日蓮宗: 身延山久遠寺 (山梨県) を総本山とする。日蓮宗系の大学として立正大学がある。
- * 日蓮正宗: 日蓮を宗祖とし、日興を開祖、大石 (たいせき) 寺 (静岡県) を総本山とする。
- * 創価学会は日蓮正宗から分離独立。